

中山間地域における優良事例集  
～高収益農業を目指す地域の工夫～

平成 2 8 年 6 月

**農林水産省**

# 取組の工夫 逆引き集

主な作物	地域名	事例	頁	取組の工夫			
				体制づくり	栽培作物・方法	加工・出荷	販売
果樹	奈良県五條市	「日本一の柿のまち」づくりに向けた取組	1	○	○	○	○
	愛媛県八幡浜市	4つの太陽を活かした「真穴みかん」ブランドの維持・向上	2	○		○	
野菜	群馬県昭和村	「レタス」等の高収益作物の生産と担い手の経営規模拡大	3	○	○		
	岐阜県高山市	「トマト」の雨よけ栽培等、高収益作物の導入と品質向上の取組	4	○	○	○	○
	高知県須崎市	「みょうが」のハウス団地生産とレシピ・試食会による消費拡大	5	○	○		○
	長崎県雲仙市	「雲仙ブロッコリー」の導入と氷詰め出荷による販路拡大	6		○	○	
	熊本県菊池市	選果システムによる「鹿本スイカ」・「メロン」のブランド確立	7			○	○
	鹿児島県曾於市	「かんしょ」の安定生産と新規就農への支援	8	○	○		
	鹿児島県喜界町	「白ごま」の導入と6次産業化の推進	9		○	○	○

# 取組の工夫 逆引き集

主な作物	地域名	事例	頁	取組の工夫			
				体制づくり	栽培作物・方法	加工・出荷	販売
花き	和歌山県御坊市	「スターチス」の産地形成と低コスト・高品質化の取組の推進	10		○	○	
水稲	秋田県大仙市	9割の農地集積・高収益作物の導入・野菜加工で周年雇用を実現	11	○	○	○	○
	新潟県柏崎市	農業生産法人を核とした魅力あるむらづくりの推進	12	○		○	○
	京都府京丹後市	集落全農家出資による法人化と集落を越えた地域営農の取組	13	○	○	○	○
	山口県阿武町	集落を跨ぐ一団地一農場法人と女性の活躍	14	○		○	
牧草	北海道浜頓別町	「浜頓別全粉乳」の安定生産と地域限定チーズで所得を向上	15	○	○	○	

## 【本資料のねらい】

本資料は、中山間地域において、農地や農業用排水施設等の農業農村整備をはじめ、新たな担い手組織の創設、高収益作物の導入や6次産業化などを通じ、収益性の高い農業を実践し「強くて豊かな農業」と「美しく活力ある農村」の実現に取り組む先導的な地域の事例を紹介するものです。全国各地で、こうした取組の横展開が図られることを期待しています。

## 【工夫のポイント】

- **新品種の導入**により、晩生中心の**品種構成を改善**し、収穫期間の延長と労働分散による**経営規模拡大を実現**。
- **柿のハウス栽培**に先駆的に取り組むことで**高付加価値化を実現**。
- **市場関係者との交流会、現地見学会**などを開催し、**海外も含めた販路拡大**を促進。

## 基盤

### 労力軽減と品質・収量の安定化

造成農地は、**緩傾斜**で作業性に優れるうえ、晩生品種の導入により労働の分散が図られ、柿の栽培が急速に拡大。更に**用水の安定供給**により、品質が高く収量の安定した果樹生産が実現。



**基盤整備**  
(S49年～H13年)

### 【整備前】

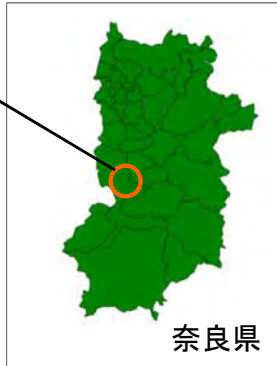
**急傾斜な樹園地**では、農作業に多大な労力を要するうえ、晩生品種に偏っていることから労働が一時期に集中。更に**用水の不足**にも悩まされており、柿の品質及び収量が不安定であった。



## 【取組地域の概要】

- **位置** ごじょうし よしのぐんしもいちちょう  
奈良県五條市、吉野郡下市町  
(特定農山村等)

ごじょうよしの  
五条吉野地区



- **傾斜**  
・平均28°程度

- **主要作物**  
・柿

### ○ 主な支援施策

- ・国営総合農地開発事業(S49～H13)
- ・地域連携確立農業構造改善事業(H10)
- ・産地再生関連施設緊急整備事業(H24)
- ・強い農業づくり交付金(H18)
- ・多面的機能支払交付金(H23～)
- ・中山間地域等直接支払交付金(H12～)

## 生産現場

### ハウス栽培による柿の高付加価値化



柿のハウス栽培

- 大玉高品質化を図り、色つやの良い甘い柿を生産。
- **柿のハウス栽培に先駆的に取り組む**ことで、高付加価値化に成功。

## 加工・流通

### 加工・流通体制の強化による経営発展



大規模選果場

- 小規模に分散していた選果場を統合することで、市場出荷体制を強化。
- あんぽ柿などの**加工、販売や海外への輸出**を促進。

## 担い手

### 地域の若年層が中心となった担い手づくり



栽培技術向上勉強会

- 青年部が主体となったイベントやPRIにより、知名度を向上させるほか、栽培技術向上のため各種勉強会を実施。

### 地域ブランドの確立による農業所得の増加

- 作業条件の改善と併せて**ハウス栽培や加工販売**などの新しい活動に取り組むことで、**地域全体で「奈良の柿」ブランドを維持**。



五條市における農業所得(果実)の推移



【出典：生産農業所得統計】

注)合併前の旧五條市、旧西吉野村のデータを合計して算出。

**【工夫のポイント】**

- **光センサー選果機の導入**により糖度等の均質化を図るなど、徹底した品質管理を実施。「4つの太陽」をテーマとした**6次産業化**にも取り組むなど、地域ブランドである「真穴みかん」ブランドの維持・向上を実現。
- **みかんアルバイト制度**を通じて、県内外の若年層を中心とした**労働力確保と地域ファンの取り込み**を図る。

**基盤**

**農業用水の安定供給による労力軽減と品質・収量の安定化**

スプリンクラーの共同利用を通じた防除、かん水により大幅に労力の軽減が図られるとともに、**天候に左右されない果樹生産が実現。**



国営事業で整備された調整水槽



スプリンクラーによるかん水

**基盤整備**  
(S49年～H11年)

**【整備前】**

昭和30年代に真穴ブランドを確立。しかし、**急傾斜でかんがい施設も整備されておらず、トラックで何度も水を運ぶ手散布によるかん水**を余儀なくされ、品質・収量が不安定であった。  
(S42に大干ばつに見舞われた際には、250億円の被害。  
(南予地方全体))



取水を待つトラックの列(イメージ)

**【取組地域の概要】**

- 位置 **やわたはまし**  
愛媛県八幡浜市(特定農山村等)



- 傾斜
  - ・平均15°程度
- 主要作物
  - ・みかん
- 主な支援施策
  - ・国営かんがい排水事業(S49～H11)
  - ・県営かんがい排水事業(S57～H8)
  - ・中山間地域等直接支払交付金(H12～)
  - ・多面的機能支払交付金(H27～)
  - ・経営高度化対策事業(H13～H14)
  - ・産地再生緊急整備事業(H24)

**生産現場**

**外部人材との連携による労働力の確保**

- **みかんアルバイトの募集**を通じて、若年層を中心とした**繁忙期の労働力を確保。**



- ・宿泊所「マンダリン」(H27年度開設) 利用者25名
- ・ホームステイ等 32名(H6年度) → 約150名(H27年度)

**加工・流通**

**品質管理の徹底等による地域ブランドの維持・向上**



光センサー選果機

- **真穴柑橘共同選果場(光センサー選果機)による品質管理**

→ 糖度・酸度のほか傷果・腐敗果も検出が可能

- **太陽光と海面・石垣からの反射光、みかんづくりへの情熱**からなる「4つの太陽」をテーマに、**加工品の開発・生産・販売に取り組む**など、ブランドを強化。

**担い手**

**地域の若年層が中心となった担い手づくり**

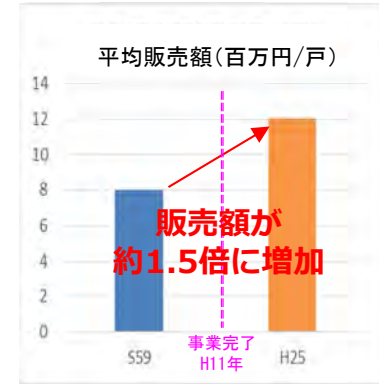
- **新規就農者5名**(過去5年(H27時点))
- **若手農業者**からなる同志会を設立
  - ・ 営農技術の情報交換や栽培技術の継承

**地域ブランドの確立等による地区内農家の平均販売額の増加**

- **外部人材との連携や新技術の導入**により、地域ブランドの維持に努め、販売額の向上を実現。



【みかん作経営農家の平均販売額(真穴地区内の農業者を対象)】  
約8百万円/戸(S59)→約12百万円/戸(H25)



露地温州みかん作経営における販売額の全国平均(約3百万円)の約4倍を誇っている。

注)「販売額」は、経営統計上の「農業粗収益」を指す。

【出典:JA西宇和真穴共選調べ】

## 【工夫のポイント】

- 区画整理等により**農作業の省力化、担い手への農地集積、経営規模の拡大**が進展。
- 用水の安定供給によるレタス等の**高収益作物の生産拡大と所得の向上を実現**。

## 【取組地域の概要】

- 位置 とねぐん しょうわむら めまたし  
群馬県利根郡昭和村、沼田市他  
(特定農山村等)



- 主要作物  
・レタス、こんにゃく 等
- 主な支援施策  
・国営かんがい排水事業(S56~H12)  
・県営畑地帯総合整備事業(S63~)  
・多面的機能支払交付金(H19~)

## 基盤

### 区画整理や農業用水の安定的な供給による経営規模の拡大と高収益作物の生産拡大

頭首工や用水路等の整備や区画整理等により、農業生産性が向上するとともに安定した用水の確保により農業経営が安定。



整備された農地(レタス畑)



施設栽培(雨よけホウレンソウ)

### 基盤整備

(S56年~H12年)

### 【整備前】

降水量が少なく、水利に恵まれないため常に干ばつ被害を受ける不安定な農業経営を余儀なくされていた。



事業実施前の全景

## 生産現場

### 用水の安定供給による高収益作物の拡大

- 安定的な用水供給によって、レタスやホウレンソウの**作付面積が増加**。
- また、関係市町村のこんにゃく収穫量は全国シェア9割の群馬県の中でも上位。

こんにゃく収穫量(H18)

順位	都道府県市町村	データ	単位
1	群馬県 渋川市	13800	t
2	群馬県 昭和村	13600	t
3	群馬県 安中市	8450	t
4	群馬県 沼田市	6820	t
5	群馬県 東吾妻町	5340	t
6	群馬県 富岡市	4510	t
7	群馬県 川場村	2130	t
8	栃木県 茨木町	1720	t
9	群馬県 甘楽町	1570	t
10	群馬県 中之条町	1288	t

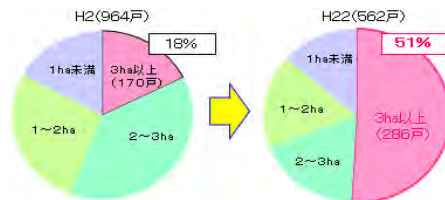
市町村別こんにゃく収穫量上位10位  
【出典：群馬県統計年報】



### 農地の集積による大規模経営農家の増加

- 基盤整備を契機に、地域の担い手農家への農地の集積が進展。

(昭和村における経営耕地面積規模別農家数の変化)



3ha以上の経営面積の農家が半数を占める。

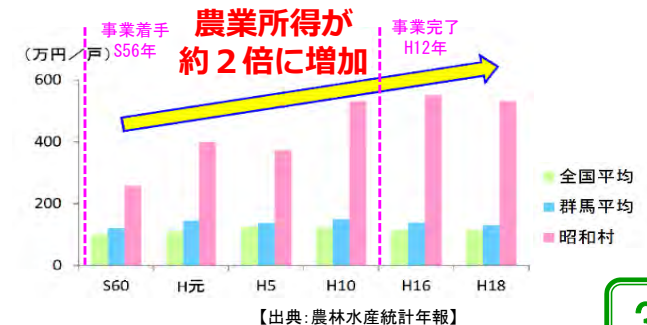
【出典：農林業センサス】

### 経営規模の拡大や高収益作物の生産拡大による農業所得の増加

- 地域の担い手農家への農地集積を通じた**経営規模の拡大**と、用水の安定供給によるレタス、ホウレンソウ、こんにゃくといった**高収益作物の拡大**により、農業所得の増加を実現。



昭和村における戸当たり農業所得の推移



## 【工夫のポイント】

- 用水確保を契機にトマトの雨よけ栽培等、高収益作物の生産拡大を実現。
- 基盤整備と併せ整備した農道の活用により、農産物の品質向上と輸送コストの縮減を実現。
- 集出荷施設の整備を通じ、農作物の品質の向上と地域の雇用を創出。

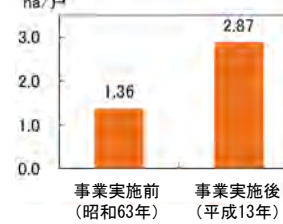
## 基盤

### 農地造成による経営規模の拡大と高収益作物の拡大

未墾地において農業用水が確保された農地(畑)を造成し、経営規模及び高収益作物(ほうれん草・トマト)の生産を拡大。



事業参加農家1戸当たり作付面積 (既耕地+造成地)



### 基盤整備 (S63年~H13年)

### 【整備前】

傾斜が急な山間部に位置し、不整形かつ狭小な農地であったうえ、消費地までの交通の便も悪く、農家の経営規模は零細であった。



## 【取組地域の概要】

- 位置 たかやまし 岐阜県高山市(特定農山村等)



- 主要作物
  - ・ほうれん草、トマト 等
- 主な支援施策
  - ・国営農地開発事業(S63~H13)
  - ・県営農道整備事業(S63~)
  - ・新農業構造改善事業(S62~S63)

## 生産現場

### 地域全体での農産物の品質向上

- 農地造成を契機に地域に営農者組合を設立し、品質統一に取り組む。
- 雨よけハウス(簡易なビニール屋根)を整備した栽培により、野菜の傷みや果実の裂果防止等の品質向上が実現。



## 加工・流通

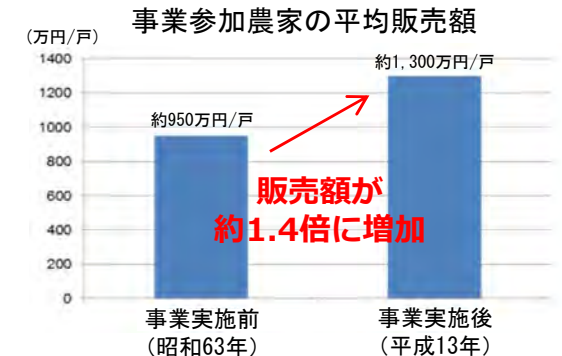
### 交通網の整備による輸送環境の改善

- 広域農道(延長9.4km)や高速道路網との接続により、農作物の品質向上とともに輸送コストの縮減や時間の短縮が実現。



### 経営規模の拡大や高収益作物の拡大等による販売額の増加

- 未墾地の農地造成による経営規模の拡大と高収益作物の生産拡大を通して農家の販売額が増加。また、集出荷施設等の整備によって地域の雇用も創出されている。



注)「事業参加農家」は、アンケート調査回答農家131戸を対象。「販売額」は、経営統計上の「農業粗収益」を指す。

【出典:受益者意向調査(アンケート調査)】

【工夫のポイント】

- 区画整理等を契機として、生産者とJA、関係行政機関の連携体制を確立。ハウスの団地化・大型化とともに、**市場ニーズに沿った高収益作物**としてみょうがを大々的に導入。
- みょうがの**調理レシピの紹介や試食会といったPR活動**に積極的に取り組むことで、販路拡大を図る。

【取組地域の概要】

○位置 すさきし  
高知県須崎市(過疎等)



○傾斜  
・平均 1/250 程度

○主要作物  
・みょうが

- 主な支援施策
  - ・県営経営体育成基盤整備事業(H9~H15)
  - ・経営構造対策事業(H12~H14)
  - ・多面的機能支払交付金(H26~H30)
  - ・こうち農業確立総合支援事業[県単](H13~H14) 等

基盤

区画整理等による経営規模の拡大と高収益作物の導入

ハウス園芸に適した区画整理、用水のパイプライン化、幅員5mの道路網の整備に加えて、他の事業の残土を活用した嵩上げにより低湿地が優良農地に生まれ変わり、複数の園芸施設を統合した経営の大型化が実現。



基盤整備  
(H9年~H15年)

【整備前】

古くからハウス園芸が行なわれていたが、**区画形状が不均一で道路も狭く、また豪雨時には河川の増水による冠水被害も度々発生**するなど、劣悪な作業条件の改善が必要となっていた。



生産現場

ハウスの団地化等による経営規模の拡大と高収益作物(みょうが等)の導入

○ **施設園芸ハウスの団地化や大型化**によって施設園芸作物の生産量や認定農業者数が増加。



○ 新規導入作物として**みょうがの生産が拡大**。(全国のみょうが出荷量の約8割を占める高知県において、その65%が須崎市にて生産。(平成24年度))

加工・流通

PR活動による消費拡大の取組

○ 考案レシピを活用した**PR活動(試食会)による販路拡大の取り組み**。



経営規模の拡大や高収益作物の導入等による農業産出額の増加や雇用の創出

【中氏地区内の農業生産の様子】

(事業実施前:平成9年) (事業実施後:平成27年)

施設面積 H9: 10.5ha 整備後 約2.0倍 施設面積 H27: 21.2ha

(地区内の農業産出額(施設園芸作物))

平成9園芸年度		平成27園芸年度	
農業産出額	6億3千万円	農業産出額	15億5千万円
きゅうり	775t 322百万円	みょうが	785t 1,255百万円
ししとう	214t 312百万円	きゅうり	388t 116百万円
		ししとう	14t 14百万円
		花卉類	2,684万本 169百万円

(地区内の認定農業者数)

認定農業者 3人

認定農業者 52人

地域の新たな雇用の創出と所得の確保に貢献  
雇用労働者:178人  
(周年:65人、臨時:113人)

注)平成9園芸年度(平成8年9月~平成9年8月末)  
平成27園芸年度(平成26年9月~平成27年8月末)

【出典:H28.4 JA調べ】



【工夫のポイント】

- **氷冷蔵詰出荷**による鮮度保持、共同選別による品質の均一化を実現。他市場の端境期における**高価格の出荷を可能とし**、関西及び中国地方への販路を拡大。
- **下流域が閉鎖性水域**であることから、**生産者全体でエコファーマーを取得**し、環境保全型農業を展開。安全・安心な農産物の供給を通じて、**農産物の付加価値を向上**。

基盤

区画整理や畑地かんがいの整備によるコストダウンや高収益作物の導入

区画整理及び畑地かんがい施設の整備により、大型農業機械の導入が可能となり、労力の省力化や生産コストの低減が図られ、収益性の高い作物の導入を実現。



基盤整備  
(H9年～H21年)

【整備前】

**半島地域のため交通の便が悪い**え、**農地は火山灰性土壌のため保水性が低く、かつ小区画・不整形**であり、道路も未整備のため、大型農業機械の導入が困難であった。加えて、畑地かんがい施設も未整備であり、収益性の高い作物の導入が困難となっていた。



【取組地域の概要】

- 位置  
うんぜんし  
長崎県雲仙市(過疎等)



- 傾斜  
・約1/20
- 主要作物  
・ブロッコリー、ばれいしよ
- 主な支援施策  
・県営畑地帯総合整備事業(H9～H21)  
・多面的機能支払交付金(実施中)  
・強い農業づくり交付金(H22)

生産現場

エコファーマーの取得による「安全・安心」の産地づくり

- **生産者全体でエコファーマーを取得**し、農業に頼らない生産や共同選別体制の構築により「安全・安心」な評価の向上に取り組む。



加工・流通

流通施設での氷詰め出荷を通じた販路の拡大



- 低温流通施設での氷詰めによる**品質(鮮度)を保持した出荷**を通じて、販路を拡大。

担い手

地域の共同活動による営農の下支え

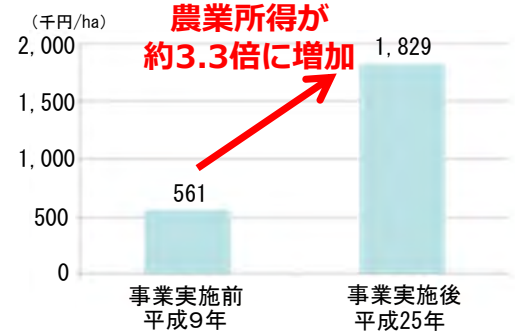


- 多面的機能支払に取り組み、地域住民が主体となった共同活動によって営農を下支え。

高収益作物の導入や販路拡大等による1ha当たりの農業所得の向上

- 地域JAによる「雲仙ブロッコリー」の**販売額は平成27年度に6億円を突破**しており、高収益作物の導入や販路拡大を通じて、所得の向上を実現。

山田原地区における農業所得(1haあたり)の向上



● 農業所得の増(1,268千円/ha)  
561千円/ha → 1,829千円/ha

【出典: H26年度 長崎県農村整備課調べ】

# 選果システムによる「鹿本スイカ」・「メロン」のブランド確立 【熊本県菊池市他】

かもと

きくちし

体制づくり 栽培作物・方法 加工・出荷 販売

## 【工夫のポイント】

- 光センサーや空洞検査を用いた **選果システムの構築**により、徹底した品質管理を行うことで、**「鹿本のスイカ」をブランド化**。
- 道の駅「**メロンドーム**」を整備し、加工品等を**直接販売**することで、農産物の付加価値を高めるとともに、都市との交流を通じて地域**ブランド確立に貢献**。

## 基盤

### かんがい施設の整備による 労力の軽減と経営規模の拡大

農業用水の安定供給による省力化や連棟ハウスの導入等により、農家の規模拡大が可能となる。



**基盤整備**  
(S54年～H11年)

### 【整備前】

火山台地のため、水利条件は極めて悪く、当時からスイカの産地であった鹿本地方においても大部分の畑で**地下水を揚水後、ポリタンクで運搬利用**されており、多大な労力を要していた。



地下水利用のためのポンプ

ポリタンクによる運搬

## 【取組地域の概要】

- 位置 きくちし  
熊本県菊池市他3市1町(特定農山村等)



- 主要作物  
・スイカ、メロン、イチゴ、ネギ、アスパラガス 等
- 主な支援施策  
・国営かんがい排水事業(S54～H11)  
・県営かんがい排水事業(S62～H11)  
・中山間地域等直接支払交付金(H12～)  
・多面的機能支払交付金(H19～)  
・農業構造改善事業(H6) 等

## 生産現場

### 新たな防除技術の導入による経費の節減



- **太陽熱土壌消毒技術の導入**により、薬剤による防除技術と比較して経費が節減されるとともに、環境保全にも寄与。

## 加工・流通

### 生産物の検査による高品質な商品の流通



- **光センサーによる糖度検査**や、**空洞検査**を通じた選果システムにより、高品質なスイカを流通。
- 道の駅「**メロンドーム**」における加工品等を含めた**直接販売**。



## 担い手

### 新規就農者支援による担い手の確保・育成

- 熊本県新規就農支援センターによる研修等を通じた新規就農者の確保。
- 中山間地域等直接支払による営農の下支え。

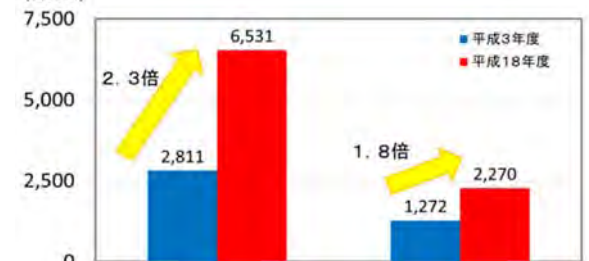


## 地域ブランドの確立による 生産販売額の向上

- 基盤整備による用水の安定供給に加え、太陽熱を利用した防除技術や光センサー等による選果システムなど**新たな技術の導入による品質の向上**を通じて、安定した産地形成を実現。



菊池台地地区スイカ・メロン生産額の推移



【出典：H18事後評価資料データにより試算】

## 【工夫のポイント】

- 農業用水の確保により、茶の品質向上、キャベツ・ピーマン等の露地野菜栽培が進展。
- 露地野菜の生産の拡大に併せ、**県・市・農協等が連携**して、新規就農者に対する**技術指導、研修等**を行い、地域の**担い手を確保**。
- 地元焼酎メーカーとの**契約栽培**を行うことで、「かんしょ」の**安定した販売を確保**。

## 【取組地域の概要】

- 位置  
鹿児島県 そおし しぶしし  
鹿児島県曾於市、志布志市(過疎等)



- 傾斜  
・約1/20～約1/7
- 主要作物  
・かんしょ、茶、キャベツ、ピーマン 等
- 主な支援施策  
・国営かんがい排水事業(S59～H21)  
・県営畑地帯総合整備事業(S60～H24)  
・県営特殊農地保全整備事業(S60～H13)  
・多面的機能支払交付金(H19～)

## 基盤

### 畑地かんがいの整備を通じた用水供給による 高収益作物の導入と労力の軽減

用水の安定的な供給によって、**露地野菜の栽培が盛ん**になったほか、スプリンクラー等によるかん水や、防霜散水によって**労力の大幅な軽減**が図られた。



**基盤整備**  
(S59年～H21年)

### 【整備前】

**保水性の乏しい火山灰土壤に覆われた畑作地帯**であることから、大部分は**天水に依存**する営農を余儀なくされており、不安定な生産であるとともに、農業生産性の向上が阻害されていた。



## 生産現場

### 効率的な散水器具の活用による労力の軽減



- **ロールカー(自走式スプリンクラー)**等の導入にも力を入れ、更なる労力の軽減に努めている。

## 加工・流通

### 地元メーカーとの契約栽培による販売量確保



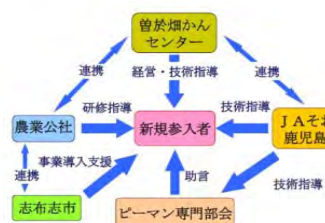
- 地元の**大手焼酎メーカーとの契約栽培**によって、「加工用かんしょ」の安定した販売量を確保している。

## 担い手

### 新規就農支援を通じた担い手の確保・育成

- **地域の農業者や行政などの関係機関が連携し、新規就農支援による担い手確保**や法人経営体育成を推進。

新規就農支援に向けた連携体制



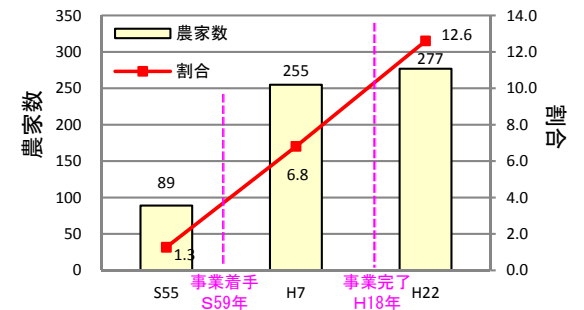
志布志市のピーマン栽培面積と農協部会員数



### 高収益作物の導入や契約栽培による販売量確保等により、販売額が1千万円以上の農家数が増加

- 基盤の整備をきっかけに、露地野菜の生産が盛んになったほか、地域の関係者間の連携による**新規就農者の確保**を通じた産地の維持や、**地元メーカーとの契約栽培**を通じた地域の農業生産の活性化に取り組む。

事業実施地区における販売額が1千万円以上の農家数とその地区内農家数に占める割合



注)「販売額」は、経営統計上の「農業粗収益」を指す。

【出典：農林業センサス】

## 【工夫のポイント】

- 地下ダムの建設により、新たに**農業用水が確保**されたことを契機に、「**ごま**」や「**トマト**」等の**園芸作物を導入**。白ゴマの生産量は全国一を誇る。
- **白ごまを使い**、「ごまドレッシング」、「ねりごま」、「ごましゃぶダレ」等の**商品開発**を行い、喜界島の特産品として製造・販売。

## 基盤

### 畑地かんがいの整備による労力の軽減と高収益作物の導入

受益面積の100%でスプリンクラー等の畑地かんがい施設が整備され、かん水労力軽減、収量安定、品質向上、高収益作物導入等を実現。



畑かん用水による労力節減



施設園芸の導入

**基盤整備**  
(H4年～H15年)

### 【整備前】

台風の上陸が多いうえ、岩盤が石灰岩のため河川がなく、台風・干ばつに強いサトウキビを基幹作物としていたが、**恒常的な水不足**による不安定な農業経営を余儀なくされてきた。



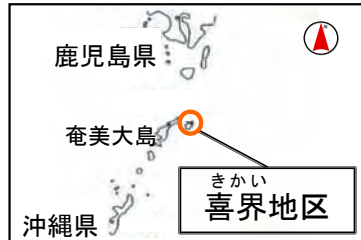
給水スタンドでの水汲み



サトウキビの干ばつ状況

## 【取組地域の概要】

- 位置  
きかいちょう  
鹿児島県喜界町(過疎等)



- 主要作物  
・サトウキビ、ごま、トマト等
- 主な支援施策  
・国営かんがい排水事業(H4～H15)  
・県営畑地帯総合整備事業(H8～H22)  
・農山漁村活性化プロジェクト支援交付金(H27～H29)  
・多面的機能支払交付金(H19～)  
・奄美群島振興交付金(H26～H30)  
・甘味資源作物安定生産体制緊急確立事業(H25～H26)

## 生産現場

### 高収益作物の導入から一大産地へ成長



- 園芸作物の導入が進み、**白ごまに関しては、日本一の生産量**を誇る産地へ成長。

## 加工・流通

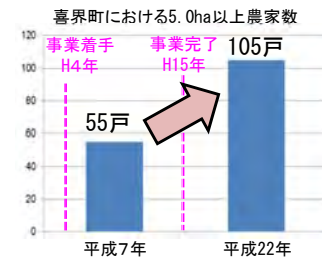
### 女性の力を活かした6次産業化の推進



- 地域の**女性グループが中心**となり、園芸作物を使った加工品の開発・生産・販売に取り組む。

## 担い手

### 農地の利用集積による大規模経営農家の増加



- 整備を契機とした農地の集積により、**経営規模5ha以上の大規模農家が増加**。地域の農業の担い手確保・育成にも貢献。

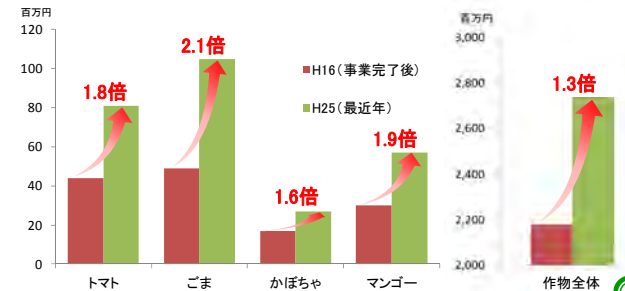
【出典：農業センサス、喜界町聞き取り】

### 用水の安定供給を通じた高収益作物の導入等による農業産出額の増加

- 事業を契機として高収益作物の産出額が向上しており、**喜界町全体の産出額向上を実現**。また、6次産業化の推進など地域の活性化にも貢献。



喜界町における農業産出額の推移



【出典：「奄美群島の概況」、喜界町調べ】

【工夫のポイント】

- 生産者自らが主体となり行った**消費者ニーズの研究**や温暖な**自然環境を踏まえ、花きの施設栽培へ転換**。
- 生産量日本一を誇るスターチスは、**市場出荷量の少ない時期に出荷**され経営の安定に寄与。
- **オリジナル品種の育成**による種苗費の削減や、生産現場での**循環送風機の導入**などの取組により、**低コスト・高品質化を推進**。

基盤

かんがい施設の整備を通じた用水の安定供給による花きの施設栽培の実現

用水の安定供給や区画整理により大幅に労力の軽減が図られ、品質が高く収量の安定した花きの施設栽培が実現。



丘陵地に広がるビニールハウス



千疋山配水槽

基盤整備  
(S37年～H20年)

【整備前】

標高5mから50mに至る傾斜地に位置し、**狭かつ不整形な階段畑のため多大な労力を要していた**。食生活の変化等に伴う需要の変化により、新たな作物への転換に向け、用水の確保が必要となっていた。



整備前のほ場



整備前の階段畑

【取組地域の概要】

- 位置  
ごぼうし  
和歌山県御坊市(特定農山村等)



- 傾斜  
・標高5m～50mに至る傾斜地
- 主要作物  
・花き(スターチスなど)

- 主な支援施策  
・県営・団体営畑地かんがい事業(S37～S41)  
・県営かんがい排水事業(S61～H2、H7～H16)  
・県営畑地帯総合整備事業(H9～H20)  
・強い農業づくり交付金(H20)

生産現場

気候を活かした出荷等による需要の確保



花きの施設栽培



クーラー育苗施設



スターチス

- 温暖な自然環境を活かした花きの施設栽培を行っており、**スターチスは市場出荷量の少ない11月～5月を狙って出荷**。冬期の**全国シェアにおいては、9割を占めている**。
- クーラー育苗施設の整備により、スターチスのオリジナル品種の育苗を行い、低価格で生産者に提供。

加工・流通

集出荷の一元化による規格の統一

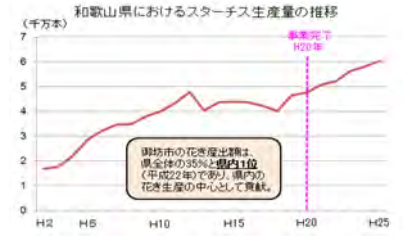


大型集出荷施設

- 大型集出荷施設を整備し、集出荷を一元化することで、効率化によるコスト削減と**規格統一による品質向上**を図る。

高収益作物の導入やオリジナル品種の開発等による販売額の確保

- 県オリジナル品種の開発等も通じて、日本一のスターチス生産量を誇っている。(平成25年時点)



【出典：花き生産出荷統計】

【スターチスを中心とした農業経営による農業所得】

花き生産に取り組むモデル経営体の現状(H25)

- 【営農規模】100a(内、施設100a)
- 【作目】花き(スターチス100a)  
+野菜(トマト10a、刈ソ10a、スィカ10a)
- 【販売額】3,657万円【所得】1,385万円

花きを中心とした生産を通じた高い所得の確保

注)「販売額」は、経営統計上の「農業粗収益」を指す。

【出典：和歌山県によるモデル経営体への聞き取り調査】

【工夫のポイント】

- 基盤整備を通じて **9割の農地を法人に集積し、省力化を図るとともに、ブロッコリー等の高収益作物を導入。**
- **企業との契約栽培**により安定した品質で**特別栽培米を出荷**するため、**GAPを取得。**
- **法人自ら野菜加工**に取り組み、地域の**周年雇用も確保。**

【取組地域の概要】

- 位置 だいせんし  
秋田県大仙市(過疎等)

秋田県



こたね  
小種地区

- 主要作物  
・水稲、大豆、ブロッコリー等
- 主な支援施策  
・県営経営体育成基盤整備事業(H13~H22)  
・多面的機能支払交付金(H19~)  
・強い農業づくり交付金(H17)

基盤

水田の区画整理・汎用化によるコストダウンと高収益作物の導入

不整形な農地の区画整理や排水改良を通じた大型機械の導入により大幅な労働力の軽減が図られ、**創出した労働力によりブロッコリー、ネギ、キャベツ等の高収益作物を導入。**



整備されたほ場



ブロッコリーの露地栽培

基盤整備  
(H13年~H22年)

【整備前】

**不整形かつ狭小なほ場**であり、高齢化・後継者不足に伴い耕作放棄地が増加。**用排兼用水路のため、排水性も悪く、畑作物の作付に支障**が生じていた。



生産現場

減農薬等による米の高付加価値化



- 減農薬・減化学肥料による**高付加価値の特別栽培米**を、企業との間で契約栽培。
- 大規模経営とGAP取得によって、必要な生産量の同品質での確保を実現。

加工・流通

自社生産野菜の加工で雇用を創出



野菜加工(カット冷凍)

- 農事組合法人自らが自社生産野菜を活用した野菜加工に取り組み、**周年での地域雇用の確保**を推進。

担い手

9割の農地を法人に集積



農地の保全活動  
(イメージ)

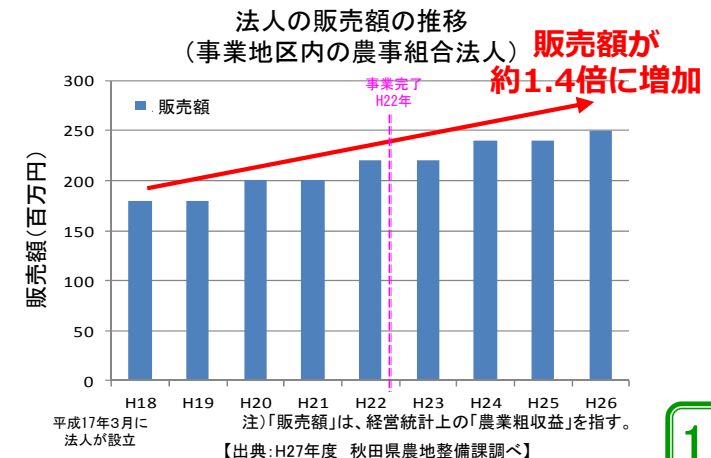
- 基盤整備面積の**9割を法人へ集積**しつつ、多面的機能支払により営農を下支え。

経営規模の拡大や高収益作物の導入等による法人の販売額の増加

- 基盤整備によって生み出された労働力を活かして**高収益作物の導入や高付加価値化を目指す農業生産**に取り組み、**地区内の法人の販売額増加**を実現。



特別栽培米の契約栽培



### 【工夫のポイント】

- 地区に設立された**農業生産法人への農地集積の進展**と野菜生産などの**複合経営を確立**。
- **切り餅や米粉クレープの加工・販売**などの6次産業化の取り組みにより、経営基盤を強化。地域の雇用創出にも貢献。
- **子どもの農作業体験や農家レストラン**を通じた都市農村交流も展開。

### 基盤

#### 水田の区画整理や汎用化による 労力の軽減と高収益作物の導入

区画整理や排水路整備を行うことにより営農、維持管理作業の軽減が図られるとともに、水田の汎用化によって、高収益作物の導入を促進し、複合経営を実現。



#### 基盤整備 (H22年～H28年)

#### 【整備前】

山間地で軟弱なほ場が多いうえ、一つの**区画が5a～20aと非常に狭小**であり、水路も**用排水が兼用の土水路**であったため、維持管理に大きな労力を要していた。



### 【取組地域の概要】

- 位置 かしわざし  
新潟県柏崎市(特定農山村等)



- 傾斜  
・1/69
- 主要作物  
・水稻、蕎麦、野菜
- 主な支援施策  
・中山間地域総合整備事業(H22～H28)  
・多面的機能支払交付金(H19～)  
・農林業経営改善支援事業[市単](H23～)

### 加工・流通

#### 地域産品を活用した6次産業化の推進

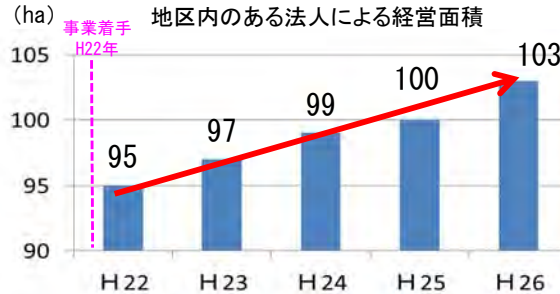
- 法人によって**地域で生産された農産物**を活用した切り餅や米粉クレープの移動販売など6次産業化の取組も進んでいる。



### 担い手

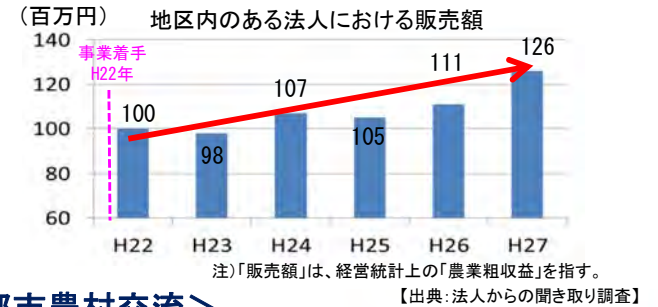
#### 法人への更なる農地集積の進展

- 基盤整備を契機として、**地域に新たな法人を設立**。地域全体の農地の更なる集積を図っている。



#### 法人への農地集積や6次産業化の取組等による法人の販売額の増加

- 法人への農地の集積・集約を通じて、経営の拡大が実現。法人の販売額も増加している。



#### <都市農村交流>

- 別俣地域の組織「別俣農村工房」と法人が連携して**都市住民との交流活動**を実施。農作業体験や農家レストランでの食事に**年間1,500人**が来訪。



## 【工夫のポイント】

- 基盤整備を契機に、**集落の話し合いやアンケート調査を実施し、地域の農業活性化プランを策定**。
- 営農体制の強化及び意思決定の迅速化等のため、次世代の担い手となる若手農業者が中心となって、**集落全農家出資による株式会社を設立**。
- 営農面積の不足を補うため、近隣集落の農地も含めた農地の集積を行い、「集落営農」を越えた「地域営農」に取り組む。

## 【取組地域の概要】

- 位置 きょうたんごし  
京都府京丹後市(過疎等)



- 主要作物  
・水稲、黒大豆、聖護院大根 等
- 主な支援施策  
・府営経営体育成基盤整備事業(S58~H14)  
・中山間地域等直接支払交付金(H12~)  
・多面的機能支払交付金(H19~)  
・農作業受託組織等法人化サポート事業 [府単](H19)  
・集落営農発展型農場づくり事業 [府単](H24~H26)

## 基盤

### 水田の汎用化等によるコストダウンと高収益作物の導入

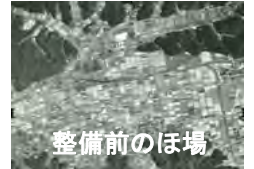
区画の拡大や汎用化、用水のパイプライン化により労働時間の短縮や生産コストの低減を実現し、水稲、黒大豆のブロックローテーションを確立。



整備後のほ場

**基盤整備**  
(S58年~H14年)

【整備前】  
半島地域のため**交通の便が悪い**うえ、**ほ場は狭小で、農道や水路は未整備**であったことから、小規模な稲作農業のまま進展がなく、高齢化、人口減少により担い手不足が深刻化していた。



整備前のほ場

## 生産現場

### 地域独自のブランド米や京野菜の生産

- **竹パウダー肥料を活用した特別栽培米**を「竹取物語」として**独自ブランド化**。
- 水稲、黒大豆を主に聖護院大根、九条ねぎなどの京野菜の生産にも取り組む。
- **地下水位制御システムの導入**により、冬作(大根)栽培が可能となるなど、作物の収量と品質が向上。

## 加工・流通

### 農産物の加工による販路の拡大

- 農産物加工場を整備し、乾燥野菜(切り干し大根)や漬物・惣菜を加工・販売。



JAの施設も活用し、商品を生産

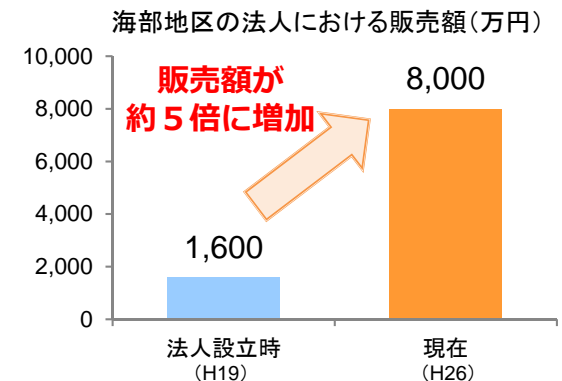
## 担い手

### 集落の全農家が参画する法人組織の設立

- 整備を契機とした集落の話し合いによって**活性化プランを作成**。その後、集落営農組織を設立し、**集落内全農家の出資により、株式会社として法人化**。
- 近隣集落の担い手不足などの課題を地域全体の課題として共有し、近隣集落も含めた農地集積を展開。

### 高収益作物の導入や加工販売への取組等による法人の販売額の増加

- 基盤整備と併せ**地域住民が主体となって作成した活性化プラン**に基づき、法人の設立や農業生産に取り組み、**販売額の増加を実現**。



注)「販売額」は、経営統計上の「農業粗収益」を指す。  
【出典: 法人からの聞き取り調査】



## 【工夫のポイント】

- 担い手となる法人に農地の利用集積を図ることで、**複数の集落にまたがる農地を一括管理する“一団地一農場方式”を構築**し、大型機械化体系を実現。
- **4集落の女性が共に活動するサークル(四つ葉サークル)を組織**し、地場産大豆を使った豆腐の製造などの6次産業化にも取り組む。

## 【取組地域の概要】

- 位置 あぶぐんあぶちよう はぎし  
山口県阿武郡阿武町、萩市  
(特定農山村等)



- 主要作物  
・水稲、大豆、トマト、はくさい 等
- 主な支援施策  
・国営農地再編整備事業(H4~H12)  
・多面的機能支払交付金(H19~)  
・中山間地域等直接支払交付金(H12~)  
・環境保全型農業直接支払交付金(H24~)  
・県営緊急生産調整対策推進事業(H24)

## 基盤

### 排水不良田の汎用化による高収益作物の導入

水田の汎用化等の整備を実施し、大型機械の導入及び高収益作物の導入を推進。



基盤整備  
(H4年~H12年)

### 【整備前】

昭和初期に簡易な区画整理を行っているものの、**全域が湖成堆積物からなる強湿田地帯であり、排水性が悪い**ことから、畑作物の栽培が困難な状況であった。



## 生産現場

### 水田の汎用化等による高収益作物の導入

- 水田の汎用化等の整備により、トマト等の**高収益な畑作物の導入**および大型機械化体系を実現。
- 乾田化した水田において「**水田+大豆**」の**ブロックローテーション**による効率的作業を実現。

## 加工・流通

### 女性の力を活かした6次産業化の推進

- 4集落の**女性が共に活動**を始め、**生産、加工、環境、交流**の4つの活動を柱としたサークル(四つ葉サークル)を設立。



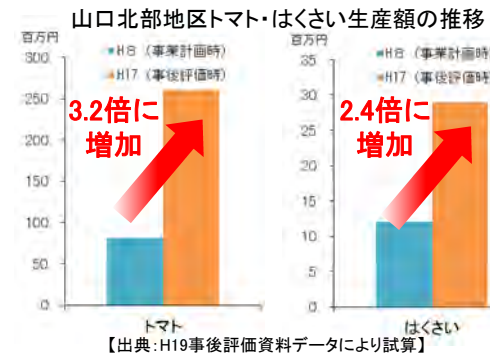
## 担い手

### 集落の話合いに基づく法人組織の設立

- ほ場整備をきっかけに、**地区再生に向けた地域の話合い**を重ね、4集落の農地を一括管理する「一団地一農場方式」を導入。  
(担い手: 農業組合法人「うもれ木の郷」設立)

### 「一団地一農場方式」や大型機械化体系導入による農業生産額の増加

- 事業を契機として「一団地一農場方式」による法人への農地利用の集積と、大型機械導入による効率的な生産体系を確立することで**コストを縮減し、収益性の高い作物の生産**を実現。また、女性の力を活かした6次産業化の推進など、地域の活性化にも貢献。



### 【工夫のポイント】

- 基盤整備を契機に設立された法人により、**草地・飼料管理の効率化と多頭飼育が実現**。
- 生乳は、国内シェア60%を占める**全粉乳と地域限定のチーズに加工・販売され、所得の向上**に貢献。
- ◆ 【全粉乳】とは  
牛乳から水分を除去して粉末にしたもの。加工乳や菓子類の原料にする。

### 草地の排水改良による単収の増加

草地における排水路、暗渠の整備や整地を実施することにより、牧草の単位当たり収量が向上するとともに、**大型機械の導入も可能となり、優良な自給飼料の基盤を形成した。**



**基盤整備**  
(H13年～H18年)

### 【整備前】

**泥炭土に起因する地盤の沈下により、排水路の機能等が低下し、湛水被害や過湿被害が生じるとともに、農用地の不等沈下による作業効率の低下が生じていた。**



### 【取組地域の概要】

- 位置  
えさしぐんはまtonべつちよう  
北海道枝幸郡浜頓別町(特定農山村等)



- 主要作物  
・牧草
- 主な支援施策  
・国営総合農地防災事業(H13～H18)  
・道営草地整備改良事業(H28)  
・飼料自給力強化支援事業(H26)  
・畜産経営力向上緊急支援リース事業(H25)  
・畜産自給力強化緊急支援事業(H21)

### 生産現場

### 法人の設立によるコストダウンの推進

- 事業着手を契機に地域に法人が設立されたことで、草地管理、飼養管理の効率化が図られ、**多頭飼育に対応した経営が実現**。



### 加工・流通

### 生乳の加工による販路の確保



- 町内の乳業工場では、主に「全粉乳」を製造し、生産量は国内シェアの約60%を占める。
- このほかにも、地域限定のチーズ製造にも取り組むなど地産地消活動も展開。

※TMRセンター(Total Mixed Rations):草地管理、自給飼料の共同調整・貯蔵及び粗飼料と配合飼料の混合飼料の調整、宅配までのシステム化した組織を作ることによって、良質粗飼料の生産性と労働効率の向上を図る方式。

### 経営規模の拡大等による農業所得の向上

- 基盤整備によって農地の湛水被害等が解消されたことにより、**大型機械の導入**によるTMRセンター※の取組促進や**営農作業の効率向上**を通じて生乳生産量が増加。全粉乳等への加工にもつながり、**農家の所得向上に貢献**。

(千円/戸) 事業受益農家における戸当たり農業所得



【出典：実施前は事業計画書、実施後は東京谷農業協同組合調べ】

# MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing, spanning the width of the page below the header.

**【お問い合わせ先】**

農林水産省農村振興局農村政策部地域振興課

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

TEL : 03-3502-6286 (直通)

FAX : 03-3592-1482

<http://www.maff.go.jp/j/nousin/tiiki/tyusankan2/zirei.html>